

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	企画財政課
総合戦略 (必須到達目標)			
数値目標			
基本方向			
重点施策名			
事業の概要	<p>【住田町総合戦略策定事業】 (目的) 総合戦略策定の実施 (内容) ・住民との意見交換会の実施 ・総合戦略基礎調査 ・策定推進委員会の開催</p>		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	なし	KPI実績値	H28.3月 策定
事業経過	<p>平成27年 5月～平成28年2月 総合戦略推進委員会の開催(計7回) 平成27年 6月 総合戦略基礎データとなる住民アンケートを 実施 平成27年12月 総合戦略策定に係る住民との意見交換会を 実施 (町内5地区で実施) 平成28年 3月 人口ビジョン・総合計画・総合戦略策定</p>		
事業成果	住田町総合戦略の策定		
事業課題	KPI設定の妥当性及びPDACサイクルの確立など、評価・検証・施策構築等の円滑な推進		
今後の方針	戦略の確実な推進、検証		

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	企画財政課
総合戦略 (必須到達目標)	ひと:人口対策		
数値目標	児童数 1学年 40人		
基本方向	①結婚支援の強化		
重点施策名	結婚相談対策の強化		
事業の概要	【結婚対策推進事業】 (目的) 結婚希望者への出会いの機会の提供や未婚者のいる家族が抱える課題解決の支援を図る。 (内容) ・結婚イベントの開催 ・結婚相談所の開設		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	婚姻数 1組	KPI実績値	婚姻数 0組
事業経過	(結婚相談) 6,10,12,2月に結婚相談所を開設 (婚活イベント) 6月、1月にホットな出会いの交流開催		
事業成果	(結婚相談)1名/年 結婚相談に来た方がお見合いまで結びついた。 (婚活イベント)カップリング2組/年 カップリング以外でも男女の出会いの場を提供できた。		
事業課題	・相談者の減少 ・女性のイベントへの参加者がなかなか集まらない ・結婚を希望しているが、困難な事情によってできていない層がある		
今後の方針	・女性の未婚率解消のための相談支援の強化 ・結婚相手のマッチングだけでなく、結婚を困難にしている環境についてアンケート調査や相談会等を実施し、その原因を探ると解消を図る。		

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	教育委員会
総合戦略 (必須到達目標)	ひと:人口対策		
数値目標	児童数 1学年 40人		
基本方向	④教育環境の整備		
重点施策名	特色ある教育の推進		
事業の概要	【国際理解教育推進事業】 (目的) 保育園・小学校・中学校・高校の連携により継続的な「国際理解教育」を実施し国際感覚を身に付けるとともに、郷土を理解しながら住田を担う人材の育成を図る。 (内容) ・新たな国際教育職員の採用(雇用期間:6カ月)		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	英検3級合格者数 18.5%	KPI実績値	英検3級合格者数 26.0%
事業経過	保育園、小学校においては、町独自の継続的、系統的な国際教育を進め、外国語活動等を通じて異文化を理解しようとする態度、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度、英会話の基礎を培ってきました。今後は、小学校高学年において英語が教科化され外国語活動も対象学年が拡大されます		
事業成果	異文化を理解することで、学習意欲の向上、積極的にコミュニケーションを図ろうとする人材が育成された。		
事業課題	英語検定3級合格者率の向上		
今後の方針	現状を継続する。		

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	企画財政課
総合戦略 (必須到達目標)	ひと:人口対策		
数値目標	児童数 1学年 40人		
基本方向	⑥町の魅力発信による移住促進、定住促進		
重点施策名	定住・移住を促す魅力ある住宅施策の推進		
事業の概要	<p>【移住促進事業】 (目的) 町の魅力をPRし、知名度を高めていくことにより、首都圏等からの移住促進を推進する。また、空き家調査を実施し、空き家バンクへの登録の促進をするとともに、移住者等の住居の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住に係る相談対応 ・空き家バンク登録の促進、・空き家調査の実施 ・定住に対する助成 		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	移住相談件数 2件 空き家バンク登録件数 5件	KPI実績値	移住相談件数 3件 空き家バンク登録件数 4件
事業経過	<p>(移住相談件数) H27. 12月 移住に係る相談会を実施</p> <p>(空き家バンクについて) H27. 9月 調査員による空き家調査を実施 空き家所有者へ登録依頼</p>		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで出来なかった空き家の確認をすることが出来た ・移住希望者のニーズを把握することが出来た 		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の所有者への直接交渉を実施することが出来なかった。 ・相談後の継続的フォローがなかなか進まなかった 		
今後の方針	<p>移住相談については、迎えるだけではなく、ことらからで発信する形をとる必要がある。</p> <p>空き家バンクについては、空き家推進員などを設置し、スムーズなシステムの構築及び強化を実施していく。</p>		

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	企画財政課
総合戦略 (必須到達目標)	しごと:所得対策		
数値目標	町民所得 2,351万円(H25)→2,553千円(H31)※町民所得10%増		
基本方向	②地域資源を活用した産業の創出		
重点施策名	地域資源を活用した産業の創出と就業機会の確保		
事業の概要	<p>【住田町中心地域活性化事業】</p> <p>(目的) 古くから岩手県の内陸部と沿岸部を結ぶ要衝の宿場町として栄えた住田町の中心地域。歴史的な町並み(町家・蔵並みなど)という残された空間的な資源を手掛かりに、地域の活性化、再生を図り、交流人口の拡大を図ります。</p> <p>(内容) ・住民交流拠点施設の利活用検討、整備 ・町歩きガイドの養成講座の開催 ・ワーキングチームの開催</p>		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	イベント交流人口 1,500人	KPI実績値	イベント交流人口 114人
事業経過	平成27年10月に住民交流拠点施設の工事契約を締結 世田米まち歩き講座を5回開催 まち歩きガイド台本の作成委託契約を締結		
事業成果	住民交流拠点施設が平成28年5月末完成 まち歩きガイド台本が完成 景観まちづくり講演会を開催		
事業課題	交流人口を確保するための方策の検討及び、推進体制整備の構築 まち歩きガイドの養成 景観まちづくりを進めるための体制整備		
今後の方針	住民交流拠点施設を核としたイベントの開催、その際のCMを作成 景観まちづくりの推進のための体制づくりとして職員研修会の開催など		

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	農政課
総合戦略 (必須到達目標)	しごと:所得対策		
数値目標	町民所得 2,351万円(H25)→2,553千円(H31)※町民所得10%増		
基本方向	②地域資源を活用した産業の創出		
重点施策名	地域資源を活用した産業の創出と就業機会の確保		
事業の概要	<p>【食いくプロジェクト推進事業】</p> <p>(目的) 町が進めている食育、地産地消、6次産業化、農商工連携、農業生産拡大、体験学習の推進など、食に関する取り組みを連携することにより、新たなしごとの創出、特産品の開発、人材育成など地域づくりを進める。</p> <p>(内容) ・町産食材を活用した給食メニューの確立 ・町産食材を活用した加工食品の開発</p>		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	新規商品数 1品	KPI実績値	新規商品数 3品
事業経過	<p>・4月に推進委員会を設置し、食育や地産地消、商品開発などの取り組んだ。 委員 9名 委員会開催回数 8回</p> <p>・6月には食プロワーキングチーム(女子会)を結成し、町内農産物を活用した特産品開発にも取り組んだ。 メンバー 9名 ワーキングチーム会議開催回数 6回</p>		
事業成果	<p>・食いくに関する関係課等で横断的に協議検討し、連携した事業展開が図られた。</p> <p>・赤カブソースの商品化に向けた取り組みが進み、3種類の開発につながり、市場アンケートを実施するまでに進められた。</p> <p>・ワーキングチームでは、伝統食の学びや新たな食の創造などをテーマに取り組んだ。</p>		
事業課題	<p>・商品開発まで進んだ赤カブソースについて、生産体制や販路の確保など安定した取り組みに進めていく必要がある。</p> <p>・ワーキングチームでは、まだ具体的な活動目標が定められていないことから、具体的な取り組みに進めていく必要がある。</p>		
今後の方針	<p>・食プロ推進委員会を中心に継続して目的に沿った事業を展開していく必要がある。</p> <p>・現在取り組んでいる学校給食メニューや弁当企画、地産地消の取り組みを新商品開発につなげた取り組みとしていく。</p> <p>・ワーキンググループの活動を見える事業として展開し、町民への食いくのアピールにつなげていく。</p>		

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	農政課
総合戦略 (必須到達目標)	しごと:所得対策		
数値目標	町民所得 2,351万円(H25)→2,553千円(H31)※町民所得10%増		
基本方向	②地域資源を活用した産業の創出		
重点施策名	地域資源を活用した産業の創出と就業機会の確保		
事業の概要	<p>【木いくプロジェクト推進事業】 (目的) 町で生産される杉を活用した関連商品等の開発を進め、町のイメージアップと雇用拡大、所得向上を図る。また、森林環境教育を進め町の産業等への理解を深め人材育成を進めていく。</p> <p>(内容) ・木製製品や玩具の商品開発 ・町内小中学校の机や椅子の試作 ・森林環境学習の実施</p>		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	試作品数 3品	KPI実績値	試作品数 9品
事業経過	ナグモデザイン事務所南雲勝志氏にコーディネートを依頼し、各課横断的な組織として推進委員会、一般町民からなるワーキングチームを設置し、①学校用机・椅子の製作、②新生児木製品贈呈について、試作・検討を行った。		
事業成果	<p>①学校用机・椅子の製作 試作を3度行い、最終設計図を作成。</p> <p>②新生児用木製品贈呈 ワーキングチームのアイデアを基に、試作品7品を製作。</p>		
事業課題	・学校用机・椅子の製作については、材の調達、強度試験の結果に基づき設計変更を行ったため、H27年度内の予定であった中学校分の完成・納入がH28年度にずれ込むなど遅れが生じた。		
今後の方針	<p>・学校用机・椅子、新生児用木製品の販売に向けた体制、仕組みを構築する必要がある。</p> <p>・林業の町にふさわしく、既存の木工事業者や新規に起業しようとする事業者の育成と支援策を実施していく必要がある。</p>		

町人口ビジョン・総合戦略(先行型事業評価シート) H27年度分

		課名	農政課
総合戦略 (必須到達目標)	しごと:所得対策		
数値目標	町民所得 2,351万円(H25)→2,553千円(H31)※町民所得10%増		
基本方向	②地域資源を活用した産業の創出		
重点施策名	雇用・就労環境の整備		
事業の概要	<p>【雇用促進事業】 (目的) 新規採用者の職場定着を促し、町内企業の人材確保を図る。 (内容) ・新規採用者職場定着奨励金(町内民間事業所採用後、勤務期間が1年6ヶ月を経過した新規採用者1人につき10万円を交付) ・新規学卒者雇用促進奨励金(新規学卒者を雇用した事業者に対して1人あたり20万円を交付)</p>		
本事業に係る重要業績 評価指標(KPI)	新規学卒者数 2人 職場定着者数 6人	KPI実績値	新規学卒者数 2人 職場定着者数 -人
事業経過	・新規学卒者雇用促進奨励金は、対象者2人分を、(有)参興電設、住田フーズ(株)に給付。 ・新規採用者職場定着奨励金については、交付要綱制定が遅れ、平成28年4月より施行。		
事業成果	・新規学卒者雇用促進奨励金は、対象者2人分を、(有)参興電設、住田フーズ(株)に給付。		
事業課題	・新規採用者職場定着奨励金については、交付要綱制定が遅れ、平成28年4月より施行。		
今後の方針	・交付要綱が整ったので、これに基づき施行していく。		